

資料編

- 1 第8期当別町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定経過
- 2 関係団体等ヒアリング
- 3 計画策定に係る調査の概要
- 4 福祉資源マップ
- 5 第8期当別町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員名簿
- 6 当別町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員会設置条例
- 7 用語解説

1 第8期当別町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定経過

(1) 委員会関連

年 月 日	内 容
令和2年6月26日	第1回 第8期当別町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員会（書面） <ul style="list-style-type: none"> ・委員長・副委員長の互選について ・第7期計画令和元年度の基本目標の実績について ・第8期計画の策定に向けて ・第8期計画策定スケジュール（案）について
令和2年10月28日	第2回 第8期当別町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・在宅介護実態調査、健康とくらしの調査結果について ・地域ケア会議の結果について ・第7期計画の基本目標と成果指標・評価結果 ・関係団体等ヒアリングの実施について ・第7期事業計画の基本理念・基本目標の評価について
令和3年1月6日	第3回 第8期当別町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員会（書面） <ul style="list-style-type: none"> ・関係団体等ヒアリングの結果について ・基本理念について ・第8期計画 施策の体系（案）について ・第8期計画第1号被保険者の保険料（案）
令和3年2月1日	第4回 第8期当別町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員会（書面） <ul style="list-style-type: none"> ・第8期計画素案について ・パブリックコメントの実施について
令和3年3月5日	第5回 第8期当別町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員会（書面） <ul style="list-style-type: none"> ・第8期計画（最終案）について ・パブリックコメントの結果について
令和3年1月25日～ 令和3年2月15日	パブリックコメントの実施

(2) 調査関連

年 月 日	内 容
令和元年11月～令和2年1月	健康とくらしの調査 ・アンケート調査 ・有効回答 2,331 名 (要介護認定を受けていない高齢者 (4,550 名))
令和2年2月～7月末	在宅介護実態調査 ・面接調査 ・有効回答：100 名 (要介護 (支援) 認定更新対象者 112 名)
令和2年8月25日	関係団体等ヒアリング ・グループワーク ・第7期計画の基本目標に対する評価、課題と解決策について
令和2年11月	関係団体等ヒアリング ・アンケート調査 (自由記述) ・現状に対する評価や当別町として必要だと思う取り組み・課題、所属する機関等としてできる取り組みや課題について

2 関係団体等ヒアリング

(1) グループワーク

① 調査・分析の概要

令和2年8月25日に行われた地域ケア会議に参加した関係団体等に対し、グループワークを実施しました。グループワークでは、メンバーを6つのグループに分け、第7期計画の基本目標と成果指標、関連する調査結果を提示した上で、基本目標の達成状況について、○、△、×の3段階で評価をしてもらいました。その上で、第8期計画に向けた課題と解決策について話し合ってもらいました。

また、個人ワークとして、「基本目標の達成状況の評価とその理由」「今後取り組むべき課題・解決策のアイデア」「その他、次期の計画に盛り込むべき内容」の3つの項目について、アンケートで回答してもらいました。分析方法は、グループワーク、個人ワークで抽出された意見をまとめ、似たもの同士を集めて分類し、カテゴリーを作成しました。

② 結果概要

<第7期 基本目標の達成状況に対する評価結果>

・全体的に「△」の評価が多い傾向がみられました。

・「基本目標1 住み慣れた地域で暮らし続けられるまちづくり」に対する評価結果

評価項目	人数 (n=30)
○	1
△	22
×	4
無回答・その他	3

・「基本目標2 健やかに自分らしく暮らせるまちづくり」に対する評価結果

評価項目	人数 (n=30)
○	0
△	19
×	2
無回答・その他	9

・「基本目標 3 つながり・支え合いを当たり前にするまちづくり」に対する評価結果

評価項目	人数 (n=30)
○	2
△	15
×	0
無回答・その他	13

<グループワーク、個人ワークで抽出されたカテゴリー・意見>

・「専門職・専門機関」「医療体制」「住民同士、町内会のサポート」「ボランティア」「社会参加（サロン活動）」「認知症ケア」「介護予防」「移動・交通手段」「防災」「感染症対策」の10項目の評価・課題に関する意見が抽出されました。

1. 専門職・専門機関に関する評価・課題
「グループホームが一つしかない」「買い物・ごみ捨ての問題」など社会資源の不足や、「町内会と積極的に連携出来たら」など、町内会との連携の必要性に関する意見。
2. 医療体制に関する評価・課題
「医療体制ができていない」「医療、介護の連携の強化が課題」「往診体制、看取りの体制がもっとできるといい」など医療体制の整備に関する意見。
3. 住民同士、町内会のサポートに関する評価・課題
「町内会との関わりを増やす」「見守りの強化」「何も支援が入ってない高齢者はどのようになっているかが心配」など町内会や近隣のサポートの必要性に関する意見。
4. ボランティアに関する評価・課題
「ボランティアの高齢化」「サービスの周知不足」「ボランティア登録が多いがマッチング出来ない」など周知やマッチングなどに関する意見。
5. 社会参加（サロン活動）に関する評価・課題
「サロンの形のマンネリ化」「高齢者が行きたいと思えるサロンの内容の充実」「参加していない人は知る機会が少ない」などサロンの周知や活動の充実に関する意見。
6. 認知症ケアに関する評価・課題
「模擬訓練の実施」「認知症サポ養成講座等知る機会はあるが活かされる場面が少ない」「認知症の啓発活動の強化」「D カフェ等の周知不足」「認知症初期集中支援チームがどこまで活用できているか」など普及啓発等の課題に関する意見。
7. 介護予防に関する評価・課題
「介護予防（健康）に関する情報やセミナーの充実」「取り組みは多くされていると感じるが認知されていない？」など介護予防の取り組みや周知に関する意見。
8. 移動・交通手段に関する評価・課題
「移動支援は課題」「降雪量多い」「免許返納後、家族だより」など移動に関する意見。
9. 防災に関する評価・課題
「地域福祉支援台帳の活用が見えてこない」「各地域資源を活用した災害・感染対策・訓練イベントを増やす？」など台帳の活用や訓練等に関する意見。
10. 感染症対策に関する評価・課題
「コロナの影響で認知症が進んだ人もいる」「コロナの影響でサロン活動も出来なくなっている」などコロナウイルス感染症による課題に関する意見。

(2) ヒアリング（アンケート）

① 調査・分析の概要

令和2年11月に町内の介護事業所、社会福祉協議会、家族会や高齢者クラブ等の機関・団体に対し、ヒアリング調査を実施しました。調査は新型コロナウイルス感染症の予防の観点から対面式ではなく、自由記述式の質問紙を作成・配布し、回答を求めました。配布・回収は電子メールもしくは郵送にて行いました。

調査内容は、「所属する団体・事業所での取り組みの中から感じる、当別町の高齢者保健福祉施策における課題だと思うこと」「高齢者保健福祉施策の課題に対し、所属する団体・事業所としてできる取り組み・提案」「当別町における地域包括ケアシステムの実現に向けて、『世代や対象を超えた取り組み』の実態」「当別町における地域包括ケアシステムの実現に向けて必要だと思う取り組み、今後の可能性」「感染症対策・災害対応について必要だと思う取り組み・課題」「その他、当別町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画について意見や要望」の6項目を調査しました。

分析方法は、抽出された意見をまとめ、似たもの同士を集めて分類し、カテゴリを作成しました。

② 結果概要

<ヒアリング調査で抽出されたカテゴリ・意見>

・「行政・計画」「世代や対象を超えた取り組み」「専門職・専門機関」「医療体制」「住民同士、町内会のサポート」「ボランティア」「社会参加（サロン活動）」「認知症ケア」「介護予防」「移動・交通手段」「防災」「感染症対策」の12項目の課題に関する意見が抽出されました。

1. 行政・計画
「地域ケア会議を有効に活用することが、システム構築の足場と考える」「計画の評価はどうなっているのか」「当別町として何に取り組めるのか住民が何を望んでいるのか、行政としてしっかり検証しなければならないと思う」など行政や地域ケア会議に関する意見。
2. 世代や対象を超えた取り組み
「8050問題（要介護の親と障がいをもつ子供の同居）など、高齢者支援分野以外との連携が必要なケースが増加している」「小中高校に対して、福祉教育の実践事業のプログラム化」「就労型デイサービスなどの推進」など世代を超えた取り組みに関する意見。
3. 専門職・専門機関
①連携・協働体制
「関係機関との情報共有や役割分担を明確にすることが必要」「支援体制の組織があるが、縦割りにならないよう一元化できるよう情報共有が重要」「多職種間で研修する機会が必要」など他機関・他職種の連携に関する意見。
②各専門職・専門機関について
「この町で最後まで過ごす受け入れ先が減っている状態は残念」「グループホームが町内に1か所しかないのは、不安である」「地域包括支援センターがきちんと機能すること」など介護施設・事業所の不足や地域包括支援センターに関する意見。

③必要なサービス・サポート
「老老介護に対する支援が不足」「独居になった高齢者をサポートするシステムづくり」「介護サービスまで必要とせず、些細な支援を望む高齢者に対して、誰が、どのように繋ぐか」など高齢者や介護者への支援に関する意見。
4. 医療体制
「近年、介護度が重くても自宅での介護、看取りを希望されるご家族が増えてきているが訪問診療など医療体制を整えるのが難しい」「訪問診療ができる医者の数や体制が欲しいです」など医療体制整備に関する意見。
5. 住民同士、町内会のサポート
「社会的排除や孤立の防止にむけて進めてほしい」「高齢者クラブ会員以外の方や、孤立している人など」など孤立防止に向けた取り組みに関する意見。
6. ボランティア
「ボランティアコーディネーターと生活支援コーディネーターは業務が重なることが多くあり」「ボランティアなどしたいがどうしていいのかわからない、やる場所がないとの声も聴く」などボランティア活動の周知や活動支援に関する意見。
7. 社会参加（サロン活動）
「（高齢者クラブは）28クラブあるが、会員減少・役員の担い手不足などに課題がある」「地域で気軽に集える場を用意。地域に出かける理由づくりが必要」「要介護・要支援状態になる前から、あるいは認定を受けた後も引き続き『自分の活躍の場所』と感ぜられる場所・コミュニティの創出」「これまで以上の（シルバー人材センターの）『会員拡大』に向けた取り組みの強化」などサロン活動の普及や担い手不足に関する意見。
8. 認知症ケア
「認知症になっても住み慣れた地域で生活を継続するため地域全体での見守り体制の充実が必要」「ケアカフェに集う方が地域の情報や課題を持っているように感じるので、その応援と協力が実現に向ける鍵のように感じます」など地域での取り組みの重要性などに関する意見。
9. 介護予防
「運動教室参加呼びかけ、運動継続による健康維持の大切さ等の周知」「介護予防の取り組みとして北海道医療大学との連携が大切である」など周知や大学等との連携に関する意見。
10. 移動・交通手段
「高齢者の生活（買い物・通院など）の移動手段の整備」「特に農村部等郊外居住高齢者の免許返納後の生活支援」など移動支援の必要性に関する意見。
11. 防災
「安否確認や災害時に利用できる町内資源など、災害時の地域や事業所としての役割が準備出来ていれば地域包括システムとして機能すると考えています」など訓練や事前準備の必要性に関する意見。
12. 感染症対策
①取り組みの実態
「ケア連ではコロナ対策をしながら研修が今後できるように役員会で話し合っている」「28（高齢者）クラブに（感染症について）アンケート調査を実施」など感染症対策の取り組みに関する意見。
②課題
「家族の足が遠く外出の機会が減るなどでADLの低下等、弊害が大きくなってきている」「実際に介護している利用者のご家族が新型コロナに感染した場合の対策について、その後の利用者への対応ができる事業所がどのくらいあるのか」「感染症、災害等各部門に専門職を配置する必要がある」「どの部署が中心となり対応するか」など感染症対策の課題に関する意見。

3 計画策定に係る調査の概要

(1) 在宅介護実態調査（要介護認定を受けている方）

① 調査・分析の概要

要介護（支援）者の在宅生活の継続や、介護者の介護離職などを予防し有効な介護サービスの在り方を検討するため、「在宅介護実態調査」を実施しました。調査対象者は在宅で生活する要介護（支援）者のうち令和2年2月～7月に要介護認定更新及び変更申請のあった方（要支援1、2及び要介護1～5）を対象とし、調査期間は令和2年2月～7月としました。

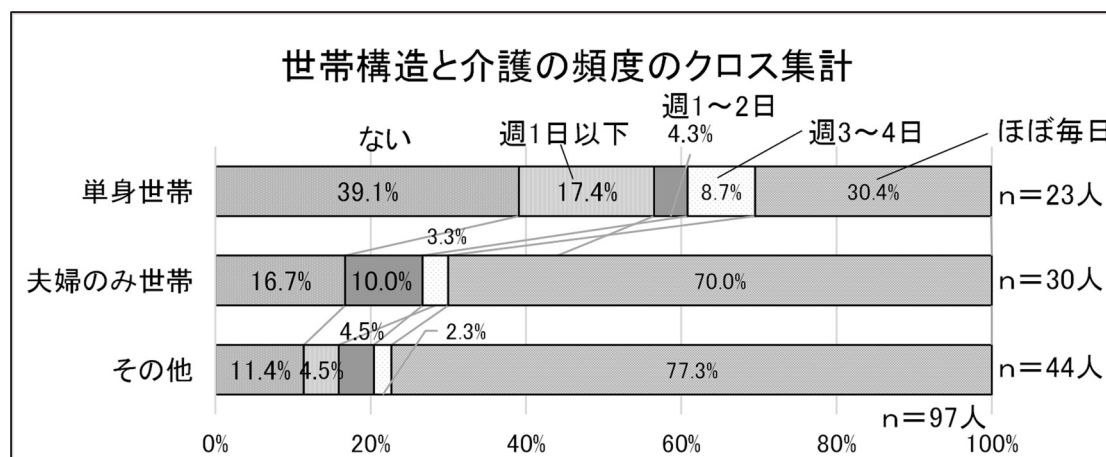
分析は主に単純集計を行い、必要に応じてクロス集計を行いました。

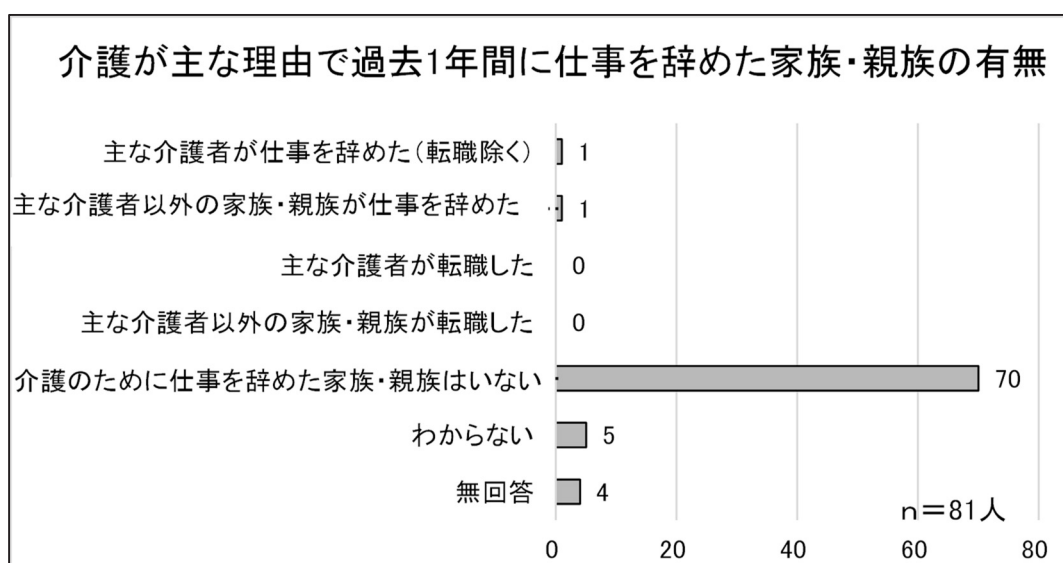
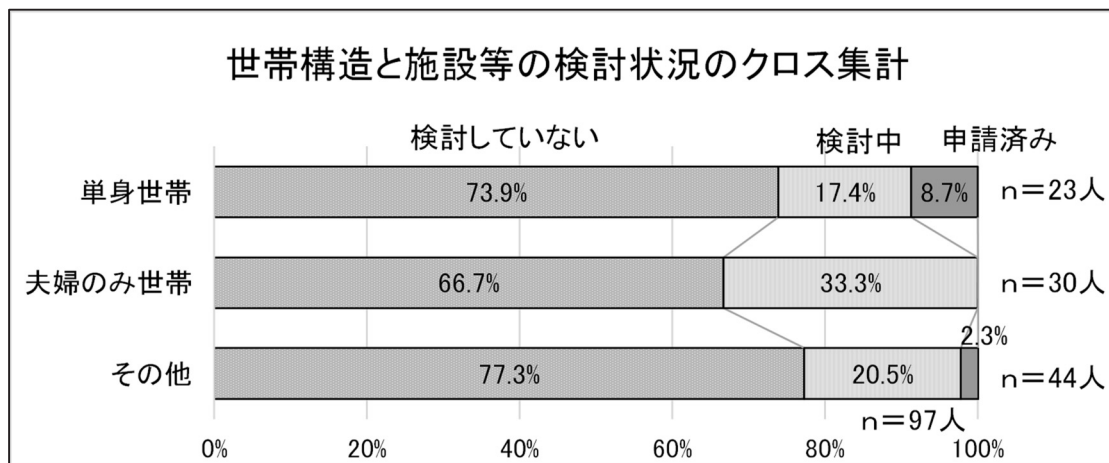
② 結果概要

有効回答は100名でした。要介護者の基本属性として性別では男性34名、女性66名、平均年齢83.7歳でした。ご家族やご親族の方からの介護の実態については、全世帯では「ほぼ毎日」が64.0%、「ない」は19.0%となっており、世帯別では「単身世帯」に比べ、「夫婦のみ世帯」や「その他」の世帯で、「ほぼ毎日」の割合が高い傾向がみられました。

また「現時点での、施設等への入所・入居の検討状況」については、全世帯で「検討していない」が73.0%を占めており、また「介護が主な理由で過去1年間に仕事を辞めた家族・親族の有無」について、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が86.4%と最も多い傾向がみられました。

○ 調査結果の抜粋





(2) 健康とくらしの調査

① 調査・分析の概要

要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況を把握することで、地域診断に活用し、地域の抱えている課題を特定することを目的にアンケート調査を実施しました。また、今回は JAGES (Japan Gerontological Evaluation Study, 日本老年学的評価研究) と協力し実施しました。

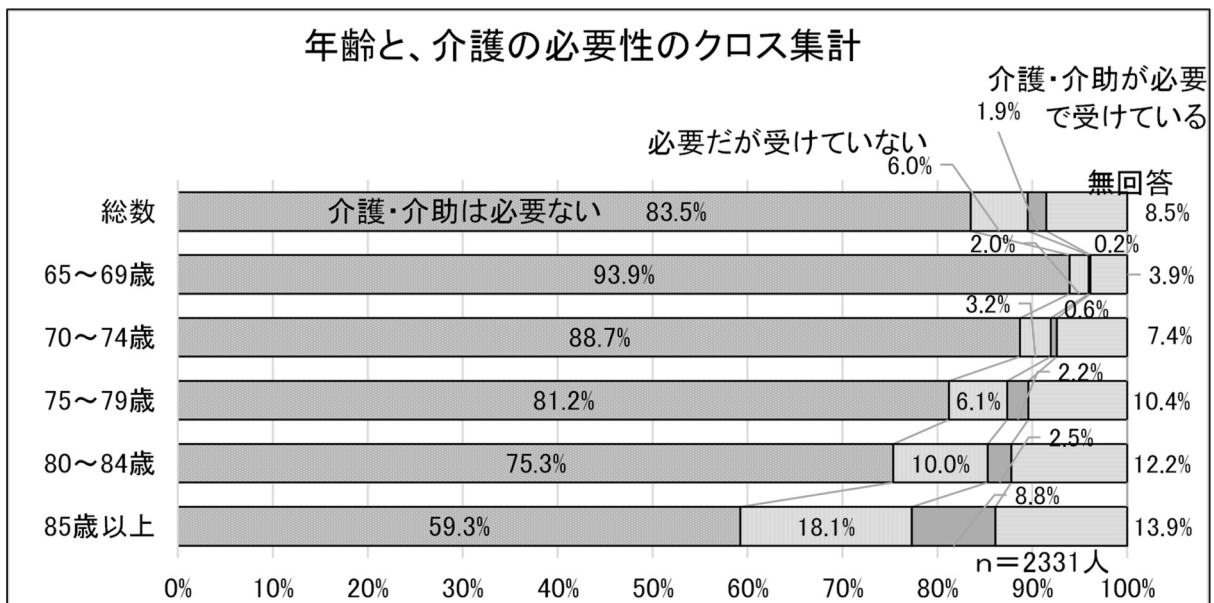
調査対象者は要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の高齢者4,550人を対象とし、調査期間は令和元年11月～令和2年1月としました。分析は主に単純集計を行い、必要に応じてクロス集計を行いました。

② 結果概要

有効回答は 2,331 名でした。本人の基本属性として性別では男性 47.2%、女性 52.8%、平均年齢 74.8 歳でした。世帯構造は全体では「夫婦二人暮らし（配偶者 65 歳以上）」が 49.1% と最も多く、女性の方が男性に比べ、「一人暮らし」「息子・娘との 2 世帯」「その他」の割合が高い傾向がみられました。また、年齢が高くなるにつれ、介護・介助を受けている人の割合が高くなる傾向がみられました。

ボランティアや趣味活動のグループ、老人クラブなどの活動について、「参加していない」人の割合も 5 割を超えており、また「たすけあう関係性」について、全体的に「配偶者」の割合が最も高い傾向がみられ、特に「看病や世話をしあえる人」について、「そのような人はいない」の割合が高い傾向がみられました。さらに、孤立感を感じている人も 1 割程度みられました。

○ 調査結果の抜粋

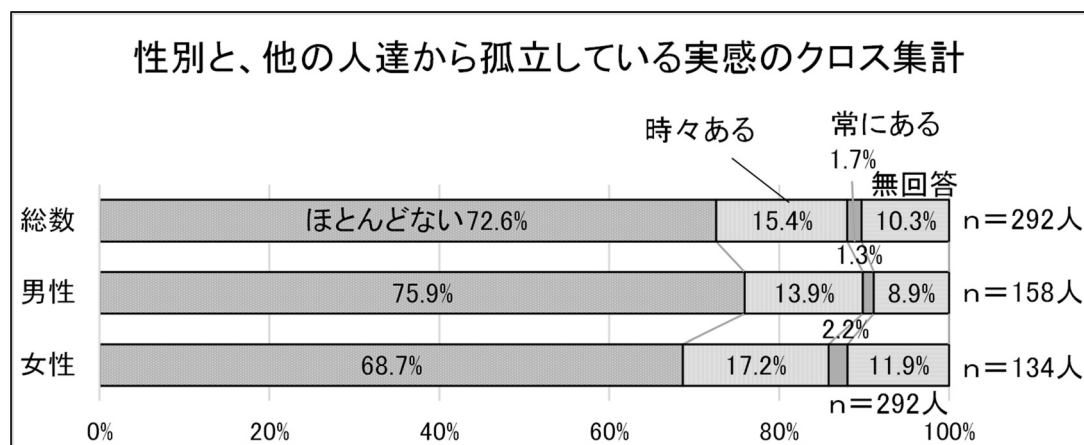


あなたは下記のような 会・グループにどのくら いの頻度で参加していま すか。	合計	週4回 以上	週2～ 3回	週1回	月1～ 3回	年に数回	参加して いない	無回答
ボランティアのグループ	2,331	18	31	27	155	197	1,387	516
	100.0	0.8	1.3	1.2	6.6	8.5	59.5	22.1
スポーツ関係のグループ やクラブ	2,331	49	112	104	100	127	1,318	521
	100.0	2.1	4.8	4.5	4.3	5.4	56.5	22.4
趣味関係のグループ	2,331	26	93	127	250名	197名	1,174	464
	100.0	1.1	4.0	5.4	10.7	8.5	50.4	19.9
老人クラブ	2,331	4	19	19	253	201	1,414	421
	100.0	0.2	0.8	0.8	10.9	8.6	60.7	18.1
町内会・自治会	2,331	9	12	13	125	780	954	438
	100.0	0.4	0.5	0.6	5.4	33.5	40.9	18.8
学習・教養サークル	2,331	9	7	20	66	121	1,591	517
	100.0	0.4	0.3	0.9	2.8	5.2	68.3	22.2
特技や経験を他者に伝え る活動	2,331	9	13	12	35	111	1,649	502
	100.0	0.4	0.6	0.5	1.5	4.8	70.7	21.5
収入のある仕事	2,331	406	113	30	49	115	1,252	366
	100.0	17.4	4.8	1.3	2.1	4.9	53.7	15.7

※上段が人数（単位：人）、下段が（割合：％）

	総数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫	兄弟姉妹・親戚・親・	近隣	友人	その他	い	そのような人はいな	無回答
あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人はいますか。	2,331	1,303	369	708	796	335	872	51	129	78		
	100.0	55.9	15.8	30.4	34.1	14.4	37.4	2.2	5.5	3.3		
反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人はいますか。	2,331	1,172	301	649	797	393	842	53	176	105		
	100.0	50.3	12.9	27.8	34.2	16.9	36.1	2.3	7.6	4.5		
あなたが病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人はいますか。	2,331	1,544	562	776	397	65	122	40	116	75		
	100.0	66.2	24.1	33.3	17.0	2.8	5.2	1.7	5.0	3.2		
反対に、看病や世話をしてあげる人はいますか。	2,331	1,229	332	434	492	84	105	37	579	166		
	100.0	52.7	14.2	18.6	21.1	3.6	4.5	1.6	24.8	7.1		

※上段が人数（単位：人）、下段が（割合：％）



4 福祉資源マップ

(1) 高齢者福祉資源

サービス種別	施設等名称	所在地	番号	記号
高齢者福祉センター	高齢者福祉センター	西町32番地2 当別町総合保健福祉センター「ゆとろ」	1	○
地域包括支援センター・ 居宅介護予防支援事業所	当別町地域包括支援センター	西町32番地2 当別町総合保健福祉センター「ゆとろ」	1	○
成年後見支援センター	当別町成年後見支援センター (令和3年度中設立予定)	西町32番地2 当別町総合保健福祉センター「ゆとろ」	1	□○
居宅介護支援事業所	勤医協当別居宅介護支援事業所	末広118番地52	5	○
	当別ケアプラン相談センター	錦町55番地9 JRドリーミー当別1階	9	○
	ケアプランセンター結	太美町1488番地274	45	○
	居宅介護支援事業所ゆかり	幸町53番地79 フォーレスト米内101号室	42	○
	居宅介護支援事業所ハナミズキ	弥生51番地38 共生型オープンサロンGarden	3	○
	介護相談センター亜麻の海	幸町51番地31	6	○
訪問介護・ 介護予防訪問介護 (ホームヘルプサービス)	当別町ホームヘルパー ステーション	西町32番地2 当別町総合保健福祉センター「ゆとろ」	1	□○
	勤医協ヘルパーステーション とうべつ	末広118番地52	5	□○
	ヘルパーステーションりっか	幸町51番地31	6	□○
	訪問介護ステーション歩っと	西町36番地8	17	□○
	ヘルパーステーション 「ajisai (あじさい)」	六軒町70番地18	24	□○
訪問看護・介護予防訪問看護	勤医協訪問看護ステーション とうべつ	末広118番地52	5	□○
	当別訪問看護ステーション	錦町55番地9 JRドリーミー当別1階	9	○
訪問リハビリテーション・ 介護予防訪問リハビリテーション	愛里苑訪問リハビリテーション	ビトエ2200番地1	8	○
通所介護・ 介護予防通所介護 (デイサービス)	当別町デイサービスセンター	西町32番地2 当別町総合保健福祉センター「ゆとろ」	1	○
	勤医協当別デイサービス ふきのとう	末広118番地52	5	○
	デイサービスセンター ふくろうの森	幸町51番地31	6	○
	ひまわり健康倶楽部	春日町97番地1	10	○
	デイサービスセンター結	太美町1488番地274	45	○
	デイサービスらくらふとみ	太美町2343番地39	13	○
通所リハビリテーション・介護予防通 所リハビリテーション (デイケア)	愛里苑通所リハビリテーション	ビトエ2200番地1	8	○

サービス種別	施設等名称	所在地	番号	記号
小規模多機能型居宅介護	小規模多機能型居宅介護さくら	弥生2番地1	16	○
短期入所生活介護	特別養護老人ホーム長寿の郷	太美町1488番地18	11	○
	特別養護老人ホーム当別長寿園	太美町1488番地19	12	○
短期入所療養介護	介護老人保健施設愛里苑	ビトエ2200番地1	8	○
認知症対応型共同生活介護・ 介護予防認知症対応型共同生活介護	グループホームらくらの家・ふとみ	太美南818番地62	14	○
介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	特別養護老人ホーム長寿の郷	太美町1488番地18	11	○
	特別養護老人ホーム当別長寿園	太美町1488番地19	12	○
養護老人ホーム	養護老人ホーム長寿園	太美町1488番地274	45	○
介護老人保健施設 (老人保健施設)	介護老人保健施設愛里苑	ビトエ2200番地1	8	○
特定施設入居者生活介護・介護予防特定施設入居者生活介護	有料老人ホームらくら当別	太美町2343番地39	13	○
サービス付き高齢者向け住宅	とうべつりっか	幸町51番地31	6	○
	パークアベニューとうべつ	西町36番地8	7	○
	にわとこ	末広5248番地8	43	○
高齢者雇用就業支援	当別町シルバー人材センター	末広2番地1	15	○

(2) 障がい者・障がい児福祉資源

サービス種別	施設等名称	所在地	番号	記号
相談支援事業	指定特定相談支援事業所 「サポートネットワークセンター」	末広2番地1	15	□
	当別町障がい者総合相談支援センター 「nanakamado (ななかまど)」	弥生51番地38 オープンサロンGarden	3	□
	当別町子ども発達支援センター	西町32番地1	20	□
居宅介護	当別町ホームヘルパー ステーション	西町32番地2 当別町総合保健福祉センター「ゆとろ」内	1	□○
	ヘルパーステーション 「ajisai (あじさい)」	六軒町70番地18	24	□○
	勤医協ヘルパーステーション とうべつ	末広118番地52	5	□○
	ヘルパーステーションりっか	幸町51番地31	6	□○
	訪問介護ステーション「歩っと」	西町36番地8	17	□○
行動援護	ヘルパーステーション 「ajisai (あじさい)」	六軒町70番地18	24	□○
同行援護	当別町ホームヘルパー ステーション	西町32番地2 当別町総合保健福祉センター「ゆとろ」内	1	□○
	勤医協ヘルパーステーション とうべつ	末広118番地52	5	□○
重度訪問介護	ヘルパーステーション 「ajisai (あじさい)」	六軒町70番地18	24	□○
	勤医協ヘルパーステーション とうべつ	末広118番地52	5	□○
	訪問介護ステーション歩っと	西町36番地8	17	□○
	ヘルパーステーションりっか	幸町51番地31	6	□○
生活介護	当別・高岡 アクティビティーセンター	高岡1813番地1	18	□
	生活介護事業所「によきによき」	弁華別429番地	22	□
短期入所 (ショートステイ)	短期入所施設anemone (あねもね)	春日町94番地22	19	□
共同生活援助 (グループホーム)	外部サービス利用型 指定共同生活援助 事業所「グループホームつくし」	元町493番地26 グランデールパレス	23	□
	清瀬マンション	春日町94番地22	19	□
	グループホーム「ゆうゆうのいえ」	太美町1488番地280	21	□
就労継続支援 (A型)	Farm Agricola (アグリコラ)	弥生52番地11	25	□
	U-Garden	弥生51番地38 オープンサロンGarden	3	□
	就労継続支援多機能型事業所Seed	高岡1046番地11	44	□
就労継続支援 (B型)	当別町共生型コミュニティー農園 「ぺこぺこのはたけ」	太美町1481番地6	4	☆□
	渋谷ダブルツールカフェ 北海道医療大学店	金沢1757番地 北海道医療大学中央講義棟10F	40	□
	就労継続支援多機能型事業所Seed	高岡1046番地11	44	□
移動支援事業	当別町ホームヘルパー ステーション	西町32番地2 当別町総合保健福祉センター「ゆとろ」内	1	□○
	ヘルパーステーション 「ajisai (あじさい)」	六軒町70番地18	24	□○
地域活動支援センター 事業	当別町地域活動支援センター 「つくしの郷」	末広2番地1	15	□
日中一時支援事業	放課後等デイサービスセンター 「amaririsu (あまりりす)」	六軒町70番地18	24	□
障がい児通所施設 (児童発達支援、放課後等 デイサービス)	当別町子ども発達支援センター	西町32番地1	20	□
	放課後等デイサービスセンター 「amaririsu (あまりりす)」	六軒町70番地18	24	□

(3) 共生型事業・地域福祉資源

























サービス種別	施設等名称	所在地	番号	記号
総合保健福祉センター	当別町総合保健福祉センター「ゆとろ」	西町32番地2	1	☆
社会福祉協議会	当別町社会福祉協議会	西町32番地2 当別町総合保健福祉センター「ゆとろ」	1	☆
ボランティアセンター	当別町ボランティアセンター	弥生1091番地6 当別町共生型地域福祉ターミナル	2	☆
生活困窮者自立支援	生活就労サポートセンター	弥生52-11	25	☆
共生型事業	当別町共生型地域福祉ターミナル「みんなのうた」	弥生1091番地6	2	☆
	当別町共生型地域オープンサロン「ガーデン（Garden）」	弥生51番地38	3	☆
	当別町共生型コミュニティー農園「ぺこぺこのはたけ」	太美町1481番地6	4	☆

(4) 保健・医療資源

サービス種別	施設等名称	所在地	番号	記号
保健センター	当別町総合保健福祉センター「ゆとろ」	西町32番地2	1	+
診療所	おくやま内科・外科クリニック	幸町51番地32	27	+
	勤医協当別診療所	末広118番地52	28	+
	スウェーデン通り内科循環器科クリニック	太美町1488番地348	29	+
	田園通りさわぎ医院	北栄町17番地13	30	+
	とうべつ内科クリニック	西町21番地9	32	+
	とうべつ整形外科	六軒町72番地4	31	+
	ふとみクリニック	太美町2343番地101	33	+
	石狩当別眼科	弥生6564番地43	26	+
歯科診療所	くろさわ歯科クリニック	北栄町39番地4	35	+
	当別駅前クリニック田西歯科	園生711番地	36	+
	当別ファミリー歯科	白樺町5番地24	37	+
	ハート歯科	太美町1473番地12	38	+
	太美歯科クリニック	太美町1695番地188	39	+
	北海道医療大学歯科クリニック	金沢1757番地	40	+

(5) 福祉避難所・指定避難所

地区名	避難所名称	所在地	地図	
			番号	記号
福祉避難所	当別町総合保健福祉センター「ゆとろ」	西町32番地2	1	

地区名	避難所名称	所在地	地図	
			番号	記号
弥生、旭町、万代町、 白樺町、北栄町、西町、若葉	当別町総合体育館	白樺町2792番地	70	
	当別町白樺コミュニティーセンター	白樺町2792番地	71	
元町、緑町、東町、樺戸町	当別小学校	元町102番地	72	
幸町、末広、錦町、 美里、下川町、栄町、 対雁、上当別	当別中学校	下川町125番地	73	
	当別赤レンガ6号	錦町294番地	74	
春日町、六軒町、金沢	当別高校	春日町84番地	75	
	北海道医療大学	金沢1757番地	40	
弁華別、茂平沢、 みどり野	旧弁華別中学校	弁華別429番地	22	
	ハッピーバレーゴルフクラブ札幌	茂平沢3382番地	76	
青山	青山会館	青山85番地	77	
中小屋	旧中小屋小学校	中小屋213番地	78	
	中小屋温泉	中小屋482番地	79	
東裏	東裏地域会館	東裏2254番地	80	
蕨岱町、東蕨岱	南部地域会館	蕨岱1860番地	81	
	東蕨岱会館	蕨岱2746番地	82	
川下右岸、川下左岸	川下会館	川下754番地	83	
太美北、太美中央、 太美西、太美東、 太美南、当別太、 太美スターライト、 太美寿、ピトエ	西当別コミュニティーセンター	太美町22番地	84	
	西当別小学校	太美町1481番地	85	
	当別太会館	太美町1078番地	86	
	ふとみ銘泉万葉の湯	太美町1695番地	87	
高岡、獅子内、 スウェーデンヒルズ	西当別中学校	獅子内5134番地	88	
	獅子内会館	獅子内2353番地	89	
	高岡会館	高岡2046番地	90	
	スウェーデンヒルズゴルフ倶楽部	スウェーデンヒルズ2788番地	91	

(6) 指定緊急避難所・指定避難所一覧

- ・ 避難所欄の「○」は指定、「－」指定外
- ・ 緊急避難場所の凡例「○」は指定、「②」は2階以上に避難、「×」は不適

地区名	緊急避難場所・指定避難所	所在地	避難所	緊急避難所の指定		
				地震	洪水	土砂災害
弥生、旭町、 万代町、白樺町、 北栄町、西町、 若葉	当別町総合体育館	白樺町2792番地	○	○	○	○
	当別町白樺コミュニティーセンター	白樺町2792番地	○	×	○	○
	当別町役場前広場	白樺町58番地9	-	○	×	○
	白樺公園	白樺町163番地	-	○	×	○
	白樺緑地	白樺町58番地	-	○	×	○
	つつじ公園	北栄町20番地	-	○	×	○
	もみじ公園	北栄町26番地	-	○	×	○
	ライラック公園	西町22番地	-	○	×	○
	若葉町会館前広場	若葉6番地	-	○	×	○
元町、緑町、東町、 樺戸町	当別小学校	元町102番地	○	○	○	○
	当別小学校グラウンド	元町102番地	-	○	×	○
	阿蘇公園	元町53番地	-	○	×	○
	栄公園	栄町1119番地	-	○	×	○
	樺戸子供遊び場	樺戸町106番地	-	○	×	○

地区名	緊急避難場所・指定避難所	所在地	避難所	緊急避難所の指定		
				地震	洪水	土砂災害
幸町、末広、錦町、美里、下川町、栄町、対雁、上当別	当別中学校	下川町125番地	○	○	○	○
	当別赤レンガ6号	錦町294番地	○	×	○	○
	当別中学校グラウンド	下川町125番地	-	○	×	○
	旧公民館前広場	末広118番地	-	×	×	○
	栄公園	栄町1119番地	-	○	×	○
	幸町子供遊び場	幸町1119番地	-	○	×	○
	若葉公園	上当別2190番地	-	○	○	○
	対雁会館前広場	対雁22番地	-	○	×	○
春日町、六軒町、金沢	当別高校	春日町84番地	○	○	②	○
	当別高校グラウンド	春日町84番地	-	○	×	○
	金沢会館前広場	金沢187番地	-	○	○	×
	北海道医療大学	金沢1757番地	○	○	○	○
弁華別、茂平沢、みどり野	旧弁華別中学校	弁華別429番地	○	○	○	○
	旧弁華別中学校グラウンド	弁華別429番地	-	○	×	○
	旧弁華別小学校グラウンド	弁華別243番地	-	○	×	○
	弁華別会館前広場	弁華別58番地	-	○	×	○
	茂平沢会館前広場	茂平沢148番地	-	○	×	○
	みどり野会館前広場	茂平沢3692番地	-	○	○	○
	ハッピーバレーゴルフクラブ札幌	茂平沢3382番地	○	○	○	○
青山	青山会館	青山85番地	○	○	○	○
	青山会館前広場	青山85番地	-	○	×	○
中小屋	旧中小屋小学校	中小屋213番地	○	○	○	○
	旧中小屋小学校グラウンド	中小屋213番地	-	○	○	○
	中小屋温泉	中小屋482番地	○	○	○	×
東裏	東裏地域会館	東裏2254番地	○	○	○	○
	旧東裏小学校グラウンド	東裏2796番地	-	○	○	○
蕨岱町、東蕨岱	南部地域会館	蕨岱1860番地	○	○	○	○
	東蕨岱会館	蕨岱2746番地	○	○	×	○
	東蕨岱会館前広場	蕨岱2746番地	-	○	×	○
川下右岸、川下左岸	川下会館	川下754番地	○	○	×	○
	川下会館前広場	川下754番地	-	○	×	○
太美北、太美中央、太美西、太美東、太美南、当別太、太美スターライト、太美寿、ビトエ	西当別コミュニティセンター	太美町22番地	○	○	×	○
	西当別コミュニティセンター前広場	太美町22番地	-	○	×	○
	西当別小学校	太美町1481番地	○	○	②	○
	西当別小学校前グラウンド	太美町1481番地	-	○	×	○
	当別太会館	太美町1078番地	○	○	×	○
	当別太会館前広場	太美町1078番地	-	○	×	○
	サンタ公園	太美スターライト1509番地	-	○	×	○
	ふとみ銘泉万葉の湯	太美町1695番地	○	○	②	○
	遊遊公園	太美南2095番地	-	○	×	○
	あいあい公園	太美町1457番地	-	○	×	○
ビトエ会館前広場	ビトエ993番地	-	○	×	○	
高岡、獅子内、スウェーデンヒルズ	西当別中学校	獅子内5134番地	○	○	②	○
	西当別中学校グラウンド	獅子内5134番地	-	○	×	○
	獅子内会館	獅子内2353番地	○	○	○	○
	高岡会館	高岡2046番地	○	○	○	○
	高岡会館前広場	高岡2046番地	-	○	○	○
	スウェーデン公園	スウェーデンヒルズ2329番地	-	○	○	×
	スウェーデンヒルズゴルフ倶楽部	スウェーデンヒルズ2788番地	○	○	○	○

本町市街地

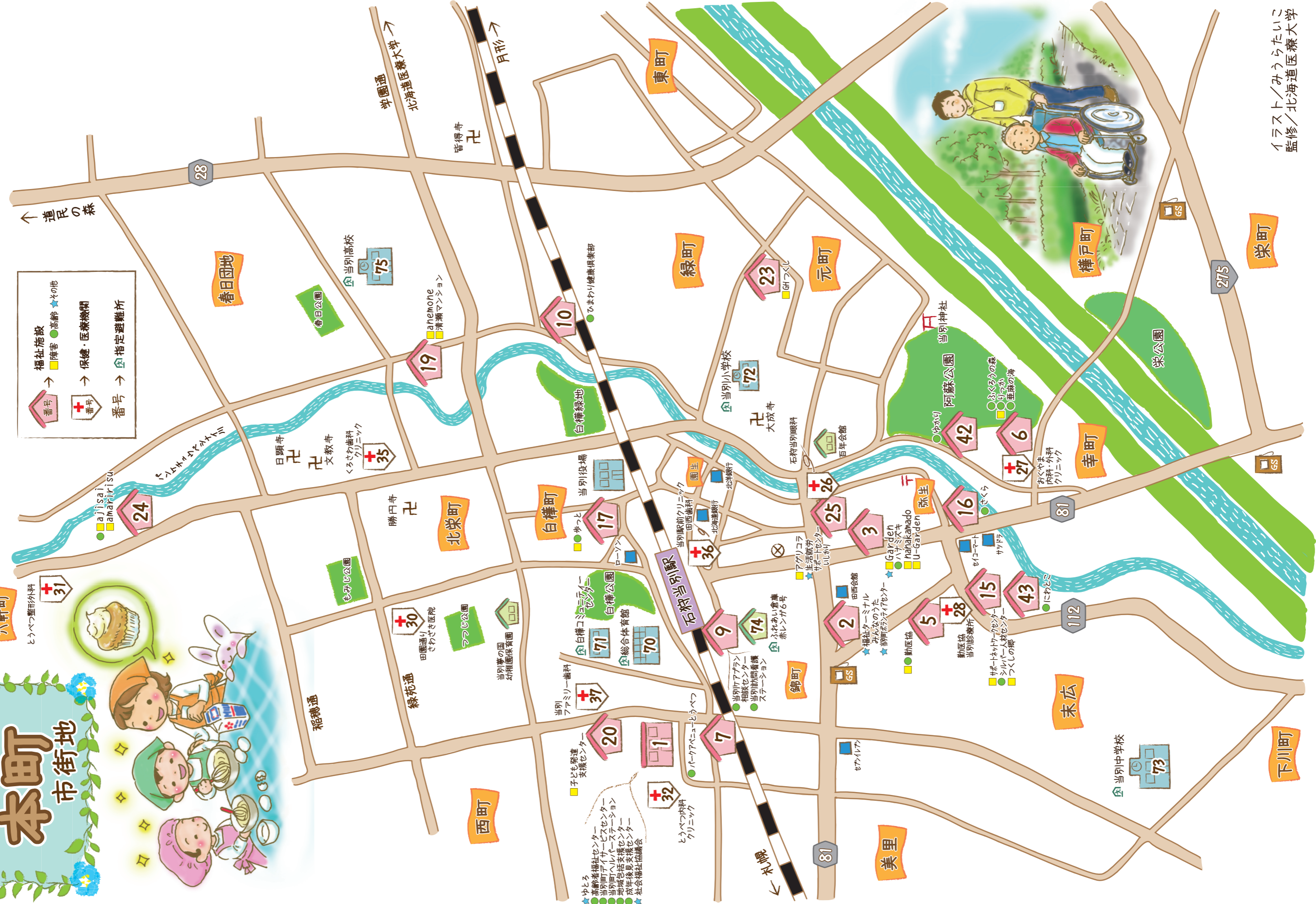


福祉施設

- 番号 → 障害
- 番号 → 保健・医療機関
- 番号 → 指定避難所
- 番号 → 高齢
- 番号 → その他

番号

- 高齢者福祉センター
- 当別町アイサービスセンター
- 当別町ヘルパーステーション
- 地域包括支援センター
- 成年後見支援センター
- 社会福祉協議会



イラスト/みうらたこ
監修/北海道医療大学

5 第8期当別町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員名簿

	氏 名	所 属
委員長	泉亭 俊徳	当別町社会福祉協議会
副委員長	工藤 禎子	北海道医療大学 看護福祉学部看護学科
委員	秋田 真秀	ふとみクリニック
委員	葛西 孝志	当別町民生児童委員協議会
委員	五賀 利雄	当別町ボランティア連絡協議会
委員	浜元 英樹	社会福祉法人当別長生会
委員	菊地 香代子	当別町ケアマネジャー連絡協議会
委員	高島 弘見	当別町介護者と共に歩む会
委員	岡田 正幸	当別町高齢者クラブ連合会
委員	曾根 昌美	一般公募

調査委託：北海道医療大学

志水 幸	北海道医療大学
松本 望	北海道医療大学
近藤 尚也	北海道医療大学
中田 雅美	北海道医療大学

6 当別町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員会設置条例

(設置)

第1条 老人福祉法(昭和38年法律第133号)第20条の8第1項に規定する高齢者保健福祉計画及び介護保険法(平成9年法律第123号)第117条第1項に規定する介護保険事業計画を策定するため、当別町高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項について調査及び審議を行う。

- (1) 当別町高齢者保健福祉計画の策定に関すること。
- (2) 当別町介護保険事業計画の策定に関すること。
- (3) その他町長が必要と認めること。

(組織)

第3条 委員会は、委員10名以内をもって組織する。

2 委員会の委員(以下「委員」という。)は、学識経験を有する者その他町長が適当と認める者のうちから、町長が委嘱する。

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱の日から当別町高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の策定が終了した日までとする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選により定める。

2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が招集し、議長となる。

2 会議は、委員の半数以上の出席がなければ、開くことができない。

3 会議の議事は、会議に出席した委員の過半数で可決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 会議は、公開とする。ただし、当別町個人情報保護条例(平成14年当別町条例第9号)第2条第1号に規定する個人情報を取り扱う場合等特別な事情がある場合は、委員長が、委員会に諮って非公開とすることができる。

(意見等の聴取)

第7条 委員長は、所掌事務を遂行するため必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求めて意見若しくは説明を聴き、又はこれらの者に対し資料の提出を求めることができる。

(守秘義務)

第8条 委員その他会議に出席した者は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、また、同様とする。

(庶務)

第9条 委員会の庶務は、福祉部介護課において処理する。

(委任)

第10条 この条例に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この条例は、平成29年4月1日から施行する。

7 用語解説

【あ】

・アクティブシニア

年齢に関係なく自分の価値観をもち、趣味や様々な活動に意欲的で元気なシニア層。

【か】

・介護支援専門員(ケアマネジャー)

要介護者等からの相談に応じて、適切なケアマネジメントに基づき、必要なサービスが受けられるようケアプランを作成するとともに、サービス事業者等と調整を行うなど、要介護者等が自立した生活を営むのに必要な援助に関する専門的知識、技術を有するものとして介護支援専門員証の交付を受けた者。

・介護予防・日常生活支援総合事業

平成 29 年度の介護保険制度の改正により、市町村が中心となり、地域の実情に応じて住民等の多様な主体が参画し、多様なサービスを効率的に提供できるものとして、国から移行されたもの。それまで予防給付として利用していた、訪問型サービス、および通所型サービスなどの「介護予防・生活支援サービス事業」と、介護予防把握事業などの「一般介護予防事業」の大きく 2 つに分かれている。

・かすみ草の集い

太美地区にお住まいで外出機会の少ない方を対象として地域スタッフ(ボランティア)が中心となり開催している集い。当別町、社会福祉協議会や北海道医療大学などにより活動を支援している。

・居宅介護支援事業所

居宅において日常生活を営むために必要な介護保険の給付サービスなどを適切に利用できるよう、要介護者等、あるいは家族の依頼を受けて、ケアプランを作成するとともに、サービス事業者との連絡調整などの支援を行う事業所。

・居住系サービス

特定施設入居者生活介護、認知症対応型共同生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護。

・グループホーム

認知症対応型共同生活介護。認知症高齢者が共同生活住居で家庭的な環境と地域住民との交流の下、入浴・排泄・食事等の介護などの日常生活上の世話と機能訓練を行い、能力に応じ自立した日常生活を営めるようにする施設。

【さ】

・在宅サービス

訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導、通所介護、通所リハビリテーション、短期入所生活介護、短期入所療養介護(介護老人保健施設)、短期入所療養介護(介護療養型医療施設等)、短期入所療養介護(介護医療院)、福祉用具貸与、福祉用具購入費、住宅改修費、介護予防支援・居宅介護支援、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、地域密着型通所介護。

・サービス付き高齢者向け住宅

住宅としての居室の広さや設備、バリアフリーといったハード面の条件を備えるとともに、ケアの専門家による安否確認や生活相談サービスを提供することなどにより、高齢者が安心して暮らすことができる環境を整えた住宅。

・施設サービス

介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院。

・社会福祉士

社会福祉士及び介護福祉士法により位置付けられた専門的知識及び技術をもって福祉に関する相談に応じ、助言、指導、福祉サービスを提供する者。

・主任介護支援専門員(主任ケアマネジャー)

介護支援専門員の実務経験が5年以上など、十分な知識と経験を有し、かつ主任介護支援専門員研修を終了した者で、他の介護支援専門員に対する助言、指導などを行う者。

・CCRC

Continuing Care Retirement Community の略称。定年後の高齢者が元気なうちに地方に移住して活動的に暮らし、介護や医療が必要になっても同所で継続的にケアを受けられることができるような地域づくりのこと。

・生活支援コーディネーター(地域支えあい推進員)

高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的とし、地域において、生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たす者。

【た】

・地域ケア会議

高齢者個人に対する支援の充実と、それを支える社会基盤の整備とを同時に進めていく、地域包括ケアシステムの実現に向け、関係者が課題等を共有・協議する場。

・地域福祉支援台帳

地域で支援を必要とする可能性のある要配慮者への平常時の見守りの強化と災害時の避難支援活動等の体制づくりを図るため整備する台帳。

・通所型サービスA

市町村が設定する緩和した基準によるサービス。高齢者の閉じこもり予防や自立支援に資する通所事業としてミニデイサービスや運動、レクリエーション活動を行う。

【な】

・認知症サポーター養成講座

認知症を理解し、認知症の方と家族を温かく支えられる地域を作るため、町内各種団体(5名以上)を対象に行う講座。

【は】

・福祉有償運送

公共交通機関(地下鉄、電車、バス、タクシー等)を単独で利用することが困難な高齢者や障がいのある方などに対し、NPO 法人等の非営利法人が営利とは認められない範囲の料金で、自家用自動車を使用して行う有償運送サービス。

【ま】

・民生委員・児童委員

民生委員法に基づき、社会奉仕の精神をもって、常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行うことなどにより、社会福祉の増進に努める者。

【や】

・有料老人ホーム

入浴、排泄、食事の介護、食事の提供またはその他日常生活上必要なサービスを提供する高齢者を対象とした民間の入居施設。

・友遊会

当別地区にお住まいで外出機会の少ない方を対象として地域スタッフ(ボランティア)が中心となり開催している集い。当別町、社会福祉協議会や北海道医療大学などにより活動を支援している。

第 8 期当別町高齢者保健福祉計画
当別町介護保険事業計画

令和 3 年 3 月発行

編集 当別町福祉部介護課
〒061-0234 石狩郡当別町西町 32 番地 2
当別町総合保健福祉センター内

電話 0133-27-5131、23-3029
FAX 0133-25-5018